

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 株式会社 テク・ミサワ ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）（R5.11.30変更）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取扱説明があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・各部署は性別、年齢等での差別化で配属を行っていない					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・長時間労働は正のため、各従業員の残業時間を上長ならびに総務が確認している。							8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)	【非該当】		・現在、外国人労働者を雇用していない				4.4			8.7 8.8	10.2 10.3						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・週に1回QCサークルで話し合いを行い、危険箇所の洗い出しや改善提案を通して安全で衛生的な職場環境の整備に取り組んでいる。			3				8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・メンタルヘルスに関するオンライン研修に参加し理解を深めている。		3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・高齢者再雇用制度を設けている。 ・有給休暇を取得しやすい職場づくりに努め、育児などで忙しい女性も活躍できる環境を整備している。				5.1 5.5		8.5 10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・職務や役割に応じた研修を行っている。 ・外部機関が行っている研修などの情報を従業員に周知し、教育の機会を逃さないようにしている。			4	5.5		8 9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・労働基準法を厳守し規定に基づき、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。				5.5		8.5 10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・健康経営の認定を2025.3に取得 ・年一回の健康診断実施 ・健診結果を基に健康相談や保健師との面談の場を設けている。		3				8								
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・廃棄物を出した際に発行されるマニフェストの保管管理を徹底し、現状を把握している。									11.6 12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			・毎月のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量をグラフ化し従業員にも周知している。					7.3					13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・毎月のエネルギー使用量のグラフ等を参考に抑制に取り組んでいる				7.2 7.3				12.4 13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握している。 ・化学物質購入量のグラフを作成し毎月の購入量を把握している。		3.9		6.3				11.6 12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			・環境に配慮した材料を使用することを心がけ、生物多様性保全に配慮している。								6.6								15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			・分別を徹底し、ゴミの排出量を減らしている。 ・リサイクル品の購入。 ・切削油の再利用												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・水の使用量のグラフを作成し、適切に使用するよう呼びかけている。					6.4	6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)			・エコアクション21を取得している。			3.9			6	7						12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			・毎年環境経営レポートを作成し、環境に対する取り組みについて公表している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・工場の屋根に太陽光パネルを設置し利用している。						7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・非合法材を使用していないことの確認を行っている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・汚職、贈収賄禁止等を含む服務心得を就業規則に明記している。															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・不正競争に関与しないように社長から社員へ徹底している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・業務の中で知的財産の保護の大切さを社員へ周知している。						8.2	8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			・個人情報など、職務上知り得た事項についてみだりに公表してはならないと就業規則に明記している。 ・社員のマイナンバーは適法に管理している。															16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			・紛争鉱物の調査依頼が来た際に、自社製品の原材料サプライチェーンを確認、把握している。															16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			サプライヤーの立場から客先より提示のあったとおり契約を結んでいる。				5			8	10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)			・パートナーシップ構築宣言を作成公表している。			3					8	9	10						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定